

埼玉トヨペット Green Brave



2018 RACE REPORT

【#68 埼玉トヨペット GB GR SPORT マーク X】

2018年4月28日(土)・4月29日(日)

ピレリスーパー耐久シリーズ2018 第2戦

SUGO スーパー耐久3時間レース

スポーツランドSUGO(宮城県村田町)

■ ■ ■ ■ ■ マーク X 初の予選 1 位を獲得するもレース展開に苦しみ 5 位 ■ ■ ■ ■ ■

チームは水曜日から走行を開始し、金曜日にはトップと遜色ないタイムをマーク。本番に向けての手応えは上々で、近藤チーフエンジニアも「目標はポール・トゥ・ウィン」と力強く宣言するほど。予選ではその言葉通りに A ドライバーの服部選手が1分30秒898(2位)、Bドライバーの脇阪選手が1分30秒544(1位)をマーク。合算タイム3分01秒442でマーク X 初の予選1位を獲得した。ポールポジション獲得は2015年の第6戦以来2回目(ST-4クラス、クルマは86)。Cドライバーの平沼選手は1分32秒340で2位。

3時間の決勝。スタートドライバーの脇阪選手は、スタート直後トップをキープしながら1コーナーに進入。先頭でホームストレートに戻ってくる。2位は#62 レクサス RC。逃げ切りを図りたい脇阪選手だが、リードを築くことはできず、一進一退のレースが続く。ところが14周目、脇阪選手と ST-X クラスの#81 アウディ R8 が2コーナーで接触。#81 アウディ R8 はコースアウトし、全域で黄旗が提示される FCY(フルコースイエロー) が導入される。この接触はレーシングアクシデントと判定されるが、ライバルはこの間にピットインを実施。脇阪選手はポールポジションの優位性を活かすロングラン作戦をとっていたため、コース上にとどまる。FCY は翌周に解除。脇阪選手は55周まで引っ張りピットイン。ドライバー交代と給油を行った他、右リアホイールに接触による傷(別の接触が原因)を発見したため、急遽タイヤ4本を交換。平沼選手に交代し5位でコースに復帰する。平沼選手はポジションを回復するためにプッシュ。上位のピットインで、一旦トップに返り咲くも、あと1回のピットインを残しており、次の FCY のタイミングをうかがいながら走行を続ける。しかし、チームの思惑通りに事は運ばず、レースは淡々と進行。平沼選手は2位走行中の88周目にピットに入り、服部選手に交代。6位でコースに復帰した服部選手はトップと遜色ないペースで走り、109周目に5位へ。しかし、残り周回数はわずかで追い上げもここまでだった。



決勝結果(ST-3クラス)

#68 埼玉トヨペット

Green Brave GR SPORT マーク X

(服部尚貴/脇阪薫一/平沼貴之)

決勝: 5位(112周、3時間02分44秒160)

予選: 1位(17番グリッド)

VOICE FROM DRIVERS



しょうがない結果です。勝利の女神が微笑んでくれなかったですね。タイム的にはトップと遜色ないペースで走っていたのですが、FCYのタイミングでピットに入らなかったことが全てです。今回の悔しさを今後活かせればと思います。次の24時間は狙っていきます。(服部尚貴選手)



予選の速さは出てきて、決勝でも序盤はトップを維持できたので、作戦を見直さないとはいけません。決勝直前にセッティングを変更したのは良かったです。でもまだまだ細かいところを詰めていかないとダメだと思います。今回のことを糧にして24時間を頑張ります。(脇阪薫一選手)



序盤でFCYが入ってもドライバー交代をしない作戦でした。でも結果はそこで交代したチームが上位でした。予想していたのとは違う結果になってしまったのでとても残念です。次回の富士は作戦も含めてノーミスで24時間を戦い、表彰台の中央に立ちたいです。(平沼貴之選手)

ST-3 クラス決勝結果

1位: 岡部自動車 T-MAN Z34(ニッサン フェアレディ Z)	112周
2位: muta Racing ADVICS IS350 TWS(レクサス IS350)	112周
3位: DENSO Le Beausset RC350(レクサス RC350)	112周
4位: 岡部自動車 MBF ネットワークス T-MAN Z34(ニッサン フェアレディ Z)	112周
5位: 埼玉トヨペット Green Brave GR SPORT マーク X(トヨタ マーク X)	112周
6位: ADVICS TRACY RC350 TWS(レクサス RC350)	111周

天候: 晴れ 路面: ドライ ※トップ6まで(8台中)

ST-3 クラスポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1位	38	TRACYSPTS	48.0
2位	15	OKABEJIDOSHA motorsport	44.5
3位	62	Le Beausset Motorsports	32.0
4位	39	TRACYSPTS	23.0
4位	68	埼玉トヨペット Green Brave	23.0
6位	14	OKABEJIDOSHA motorsport	18.0



VOICE FROM MECHANIC

クルマがピットインした時に給油をするフェーラーを担当しました。レースに参加するのは初めてでしたが、固定メンバーや経験のあるメンバーがサポートしてくれるのでやりやすかったです。レースでも安全第一は変わりません。ここで鍛えた安全管理を普段にも活かしたいです。(川越支店・増田優樹)

第3戦 5月31日(木)~6月3日(日) 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社



株式会社アシスト・ワン



アルパインマーケティング株式会社



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼群スリーボンド株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーセールス



株式会社デンソーテン販売



東燃ゼネラル石油株式会社



トヨタ部品埼玉共販株式会社



トヨタホーム東京株式会社



トヨタレンタリース新埼玉株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



株式会社プロモーション



丸和工業株式会社

※50 音順